



「the STR」

ストラトス誕生



【1970 Stratos Zero】

ストラトスという名で初めてその姿が発表されたのは、1970年のトリノ・ショーです。

当時、モーター・ショー向けのコンセプトカーとして作られた「ストラトス・ゼロ」は、その非凡なシルエットから、これが後に WRC での3年連続メイクス・チャンピオンに輝く不滅のラリー・マシンとなることは、誰もが予想できませんでした。

しかし、翌年のトリノ・ショーで再び披露されたストラトスのプロトタイプは大衆の目を引き付け、イタリアの新しいラリー・マシンの誕生を予感させるには充分だったのです。



【1971 Lancia Stratos HF Prototype】

「the STR」

不滅のラリーマシン



設計は後にランボルギーニ・ミウラ、カウンタック、ディアブロなどを手がけることとなる若きマルチェロ・ガンディーニ。

頑丈なセンターモノコック+サブフレームからなるシャーシと軽量のグラスファイバー・ボディには、フェラーリ 246GT に用いられていたフィアット製 2.4 リッター V6 エンジンが搭載され、サスペンションはフロント／リアともにインデペンデントを採用し、リアはベータ・スタイルのストラット、ウィッシュボーン・アンチダイブ、そしてアンチスクォートなど、ラリーカーとしての理想的なジオメトリー機能が備え付けられていました。

その後ストラトスは、テストも兼ねたいいくつかのレースにプロトタイプとして参戦しながらラリーカーとして完成度を高めていき、やがて 1973 年にツール・ド・フランスにおいて初勝利を飾り、ストラトスのラリー・シーンにおける無敵時代は幕開けたのです。

1974 年には「連続する 12 ヶ月に 400 台以上の生産が必要」というレギュレーションをクリアし、WRC のホモロゲーションを獲得。

以降、その活躍は 1978 年の RAC ラリーを最後に撤退するまで続き、WRC での 3 年連続メイクス・チャンピオンという金字塔を含む、14 回のワールド・チャンピオンと 68 回の世界タイトル授賞という、ラリー界の大記録を打ち立てたのです。

そして、ランチア・ワークスの撤退後もプライベーターの手でストラトスのラリー参戦は引き続き行われ、1978 年ツールド・コルス、1979 年モンテカルロ、ツールド・コルス、サンレモを制し、さらに 1981 年のツールド・コルスを勝ち取るなど、その戦闘力の高さを証明し続けました。

「the STR」

ホモロゲーションを得るためのストラダーレ



【Lancia Stratos HF Stradale】

ストラトスは生粋のラリーカーとして開発されたために、座席は2名分しかなく、ラゲッジスペースはリアに搭載したエンジンの上部トレートと、奥行きのあるドアポケット程度で、黒いシェードによる後方視界の悪さなども相まって、そのストラダーレ仕様は実用性とはかけ離れたレイアウトとなっていました。

その上、馬力や排気量至上主義であった当時のスーパーカーと比較すると、ライトウェイト・ウェイト・スポーツ寄りに開発されたストラトスは市場的に成功した車とは決して言えませんでした。

生産台数はFIAの規定台数をクリアしホモロゲーションを獲得するに至りましたが、フィアットの意向もありストラトスの生産は492台に留まることとなりました。

しかし、ベルトーネの工場が火災に見舞われ、全体生産台数に計上される予定であった1/5程のストラトスが失われ、結果的に当時の残存数は生産済みのものを含め400台未満とされています。

「the STR」

Lister Bell Automotive 社のレプリカ

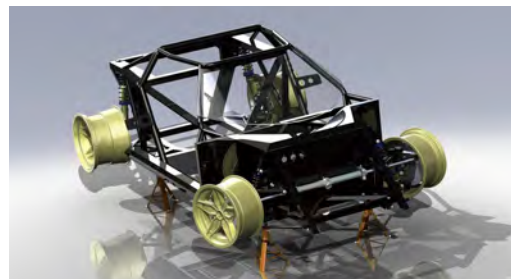


日本において 1970 年代のスーパーカーブームの真っ只中に発売されたストラトスでしたが、1980 年から 1990 年代へ進むと並行輸入やオリジナルの現存車両も少なくなり、ストラダーレ仕様でさえ希少となっていました。

そのため、C.A.E.、ホークリッジ、AER、リットンなどランチャとは無関係のレプリカのキットカーも多数存在し、日本の公道向けに保安部品をつけ、公認を取っている車両も多数存在しました。

しかしそれらのレプリカは、安価なキットカーらしく鋼板構成フロア + 丸型パイプフレームで組まれており、オリジナルのセンターモノコック構造に明らかに剛性面で劣っており、さらに実車と比較するとその独特のボディ・シェイプの違和感は否めないものとなっていました。

Lister Bell Automotive 社は、生粋のラリーカーを再現するにあたり、他のレプリカ同様のパイプフレームで組まれたシャーシを安易に採用することはせずに、RAC ブルーブックに準拠したシャーシ体型のロールケージ持つスペースフレームを自社にて独自開発、「実際のラリーに参戦可能」な域にまでその剛性を高め、それまでに存在していたストラトスのレプリカのクオリティを遥かに凌ぐ車両「the STR」を送り出しました。また、ボディ・シェイプにおいても細部に至るまで忠実に再現し、伝説のラリー・マシンを現代の世に見事に蘇らせたのです。



「the STR」

名機「ブッソ V6」



アルファロメオは 70 年代の早い段階から V6 エンジンの開発に着手しており、アルファロメオ初のオールアルミ V6 エンジンは 79 年に発表されアルフェッタ、アルファ 6 に搭載されました。

クロームメッキの輝きを放ち 60 度バンクの谷間へと艶かしい曲線を描く 6 本のインテークマニホールドを持つこの V6 エンジンは、アルファロメオの魂を生んだ偉大なエンジニア「ジュゼッペ・ブッソ」の集大成であり、アルフェスタの間では賞賛の意を含め「ブッソ V6」と呼ばれています。

アルフェッタ 2.5 に搭載以降、26 年という長きに渡りアルファロメオに魂をもたらし続けてきたブッソ V6 は、2.0 から 3.2ℓ まで拡大され、75、SZ、155、164、GTV、スパイダー、156、166、147 と多くの車種と、ランチャテーマ V6 など他メーカーの車種にも採用されたほどの名機です。

the STR に搭載される V6 エンジンもまたその血脈にあり、アクセル ON で一気にレブまで跳ね上がるショートストロークの V6 ユニットと心臓の鼓動がシンクロした瞬間、ドライバーを官能へと導きます。

耳のみならず、目でも楽しめる名機「ブッソ V6」を是非ご堪能ください。

「the STR」

赤いシャルドネ



1975年のツール・ド・コルスラリーに、最強のプライベーターで知られるシャルドネチームが参戦しました。ツール・ド・コルスを得意とするフランス人ドライバーのベルナール・ダルニッシュが、通称「赤いシャルドネ」を駆り、ワークスチームのストラトス2台が相次いでリタイアする中、トップを守りきり優勝。ランチアに75年のメイクスタイトルをもたらしました。

UK CLASSIC FACTORY では、国内第一号となる the STR が赤であることから、この赤いシャルドネを数少ない資料を元に完全再現しようと計画中です。

ご期待ください。



【シミュレーション中】



「the STR」

主要諸元表

エンジン	Alfa Romeo AR32401 V6	Alfa Romeo AR34301 V6	Alfa Romeo 936A000 V6
全長	3710mm		
全幅	Stradale 仕様／1750mm Gp4 仕様／1860mm		
全高	1150mm (Roof Scoop 込)		
ホイールベース	2195mm		
車両重量	1000kg		
排気量	2497cc	2959cc	3174cc
最高出力	192PS/6300rpm	226PS/6200rpm	240PS/6200rpm
最大トルク	222Nm (164lb/ft) /5000rpm	275Nm (203lb/ft) /5000rpm	300Nm (221lb/ft) /4800rpm
トランスミッション	Alfa Romeo 6 速 MT		
サスペンション	前／ダブルウィッシュボーン 後／マクファーソンストラット		
ステアリング	ラック & ピニオン		
ホイール	Stradale 仕様／前 :8×16”、後 :9×16 Gp4 仕様／前 :8.5×16”、後 :11×17”		
タイヤ	Stradale 仕様／前 :225/45R16、後 :245/45R16 Gp4 仕様／前 :225/45R16、後 :275/40R17		
納期	受注から 2 年を目安		

車両購入申込書

申込モデル名：“the STR” by Lister Bell Automotive

■ 記入日	年 月 日
■ お名前(漢字 / ローマ字)	/
■ 職業 / 勤務先	
■ 生年月日	年 月 日
■ ご自宅住所	〒
■ 携帯番号	
■ メールアドレス	

購入を希望される場合は、上記の項目に自著でご記入いただいた本書面を、PDF ファイル、もしくは FAX にて弊社宛ご送付の上、下記の口座に申込金 400 万円をお振り込みください。

(送付先： ukclassicfactory@gmail.com、03-3445-0553)。

三菱 UFJ 銀行青山支店 普通口座 5306143

有限会社ジェイブランディング 代表取締役 勝見祐幸

お申し込みから納車までのプロセスは下記の通りとなります。

- 1) 本書面へのご記入と所定の申込金(400 万円)のお振り込み
- 2) 各種仕様・オプションを決定、販売価格を確定した上で、自動車売買契約書を締結(署名・捺印)
- 3) 生産着手時に追加申込金(400 万円)のお振り込み
- 4) 車両完成時に残金のお振り込み、船での運搬(約 45 日)を経て、車両登録、納車

the STR の 2019 年 2 月時点での見込み納期は約 2 年、うち生産着手から完成までで約 6 か月となりますが、今後の生産体制の変更などで、納期が前後する可能性があることをご了承ください。

販売価格はベース車両で 1200 万円(+消費税・登録諸費用)を予定していますが、Lister Bell 社における販売価格の変更や為替レートの変動により価格変更を余儀なくされる場合には、生産着手前にご説明・ご了承いただいた上で、追加申込金をお支払いいただきます。なお、生産着手前にキャンセルされる場合には、書面にてその旨をお申し出いただければ、お振り込みいただいた申込金は振込手数料を除いて翌月末までに全額返金させていただきます。生産着手後のキャンセルはできません。